

看護いばらき

No.105

2014年4月30日



CONTENTS

- 平成25年度茨城県医療安全研修会 …… P2
- 平成25年度茨城県看護研究学会 …… P3
- ブラッシュアップ研修 看護研究 …… P4
- 私の職場 …… P5
- ザ・シリーズ ～地域連携～ …… P6
- そよかぜ 私の専門～認定看護師～ …… P7
- 輝けナースマン …… P8～9
- 訪問看護事業所・医療機関相互研修のご案内
ブラッシュアップ教育 准看護師研修のご案内 … P10
- 新着図書のお知らせ …… P11
- 協会からのお知らせ …… P12
・理事会報告
・平成26年度通常総会・職能集会のお知らせ

会員数 (平成26年4月1日現在)

合計 11,767 人 保健師 266人 助産師 485人 看護師 10,003人 准看護師 1,013人

平成25年度茨城県医療安全研修会

平成26年2月2日（日）茨城県立県民文化センター大ホールにて医療安全研修会が開催されました。本研修会は、茨城県との共催で医療機関における医療安全対策に関する講演・事例発表等による研修を行なうことにより医療従事者等の資質向上を図り、医療安全の向上に資することを目的に実施されました。医師・薬剤師・看護師など医療従事者約600名の参加がありました。

● 特別講演 ●

「医療機関におけるメディエーションについて」

講師：北里大学東病院 看護部長 花井 恵子 先生

「メディエーションとは対立する2人以上の当事者がいる場合に、中立第三者としてのメディエーターが当事者を援助しエンパワーすることで話し合いを促進し合意形成、葛藤の乗り越えへと至らせる仕組みである。メディエーターは医療側、患者側の必要情報を整理し、中立性を保ちながら、当事者の会話を促進することで合意にむけて介入することが役割となっている。」と医療者、患者双方から直接的に問題を提起し、事故や紛争を肯定的に捉え、医療安全に役立てていい組織文化になるようにと話されていました。



「医療事故情報収集等事業の現状について」

講師：公益財団法人 日本医療機能評価機構
執行理事兼医療事故防止事業部 部長 後 信 先生

「医療事故情報収集等事業の目的は医療機関から事故情報及びヒヤリ・ハット情報を収集しさらに学会等からも幅広く事故防止に有用な情報を収集し、それらについて分析を加えたうえで改善方策等を広く社会に提供する。また医療機関からの相談に応じて必要な助言・支援を行うことにより、医療事故の発生予防・再発防止を促進することである。」と報告事例を挙げながら事故及びヒヤリ・ハットの背景や要因、改善策の講演でした。



「つくばセントラル病院における 医療安全管理の取り組みについて」

講師：つくばセントラル病院
医療安全管理者 看護師長 森下 静 先生

つくばセントラル病院のインシデント報告と、①検査でのタイムアウト、②患者家族取り違え、③離棟・離院対策についての3事例をともに、医療安全管理者としての具体的な取り組みを聞くことができました。



● 参加者の声 ●

- 「医療機関におけるメディエーションについて」基本的考え方、中立的メディエーターによる対話促進についてよく理解できました。
- 薬局の連携に関連した医療事故、疑義照会の重要性について再認識をしました。
- 現場の取り組みについて興味深く聞かせていただきました。事例を参考に今後役立てていきたいと思いました。
- 医療者側の視点で考えるのではなく、「病気を治したい」という同じ目的を持ったパートナーとして、対応していく事を学びました。また、自己の役割として苦情やインシデント報告を無駄にせず、病院組織に還元しなければならないという思いを強くしました。

平成 25 年度 茨城県看護研究学会

— 未来に向かって 看護の力を高めよう —

平成 26 年 2 月 22 日（土）、茨城県立医療大学に於いて、25 年度茨城県看護研究学会が約 440 名の参加がありました。学会テーマは「未来に向かって看護の力を高めよう」です。

□演 23 題の中には、「看護研究」実践編を受講した 9 題も含まれ、1 年間の成果が発表されました。示説は 20 題の計 43 題です。看護の実践に活用できる内容でした。



災害看護「惨事ストレスを被る看護職者への支援」

NPO 法人災害看護支援機構 副理事長 山崎 達枝 先生



2004 年新潟中越地震の看護スタッフの調査結果をはじめとして、まだ新しい記憶にある東日本大震災から、看護職者の惨事ストレスについて講演がありました。

「人がいないところに災害は発生しない。

人が関与しているから災害という。

災害発生といわれるところには、人間の存在が必ずある。

災害看護の原点は、看護の原点としては、ナイチンゲールの原点である。」と「助け合うこと」「関わり続けること」の必要性について話されていました。

ブラッシュアップ研修「看護研究」発表者の声

- 初めての研究であった。苦手意識があったが、指導を受けて前向きに取り組むことができたので研修を受けてよかった。
- アンケート調査の質問の仕方や集計方法について気づきがあった。先生とのやり取りを何度も実施し、表現方法の指導を受け、発表につながった。
- 具体的に指導していただき、わかりやすかった。

発表者の声

- 発表前には、座長との打ち合わせがあり、緊張がほぐれ発表につなげることが出来たのでとてもよかった。
- 演発表時の時間を知らせる方法もベルでなく、ランプであり、音で焦ることもなくよかった。
- 振り返りと分析ができて、今後役に立ていきたい。
- 業務が忙しい中での研究であり、参考文献を収集するのが大変だった。



座長の声

- 示説発表後も、ディスカッションをしたので、質疑応答が活発にできた。

参加者の声

- 自分の施設との比較ができ、取り入れられることもあり、勉強になった。
- 県内の病院での取り組みを聞くことができ、今後の地域包括ケアシステムに活かせると思った。



看護研究（実践編）



日程：平成 25 年 6 月 20 日、 7 月 29 日、
9 月 24 日、10 月 21 日

会場：茨城県看護研修センター

平成25年10月21日に行われたブラッシュアップ教育 看護研究（実践編）の研修を取材しました。この研修は『看護研究の知識を深め、看護研究を実践し、茨城県看護研究学会の発表につなげる』ことを目的とし、6月から4か月にわたり4日間行われました。

研修最終日は、茨城キリスト教大学 渋谷えみ先生からプレゼンテーションの講義と、磯山あけみ先生からポスターセッションの説明がありました。研修には55名の参加があり、講義終了後、二人の先生から個別指導があり、論文の最終調整に入りました。今回の研修を終えて、平成26年2月22日（土）に開催された茨城県看護研究学会で研修の成果を発揮することが期待されました。

参加の動機

- ・ 上司にすすめられたため。
- ・ 自己のレベルアップのため。
- ・ 看護研究学会で発表するため。
- ・ 看護研究（基礎編）を受講したので今回も受講した。
- ・ 実践の中で疑問に思ったことを論理的に明らかにしたいと思ったから。

参加者の感想

- ・ 院内看護研究の発表に役立てたい。
- ・ 実践的な内容が多く、有意義だった。
- ・ 個別指導があり細かいところまで学べた。
- ・ 具体的な講義でスライド・ポスターづくりに活かしたい。

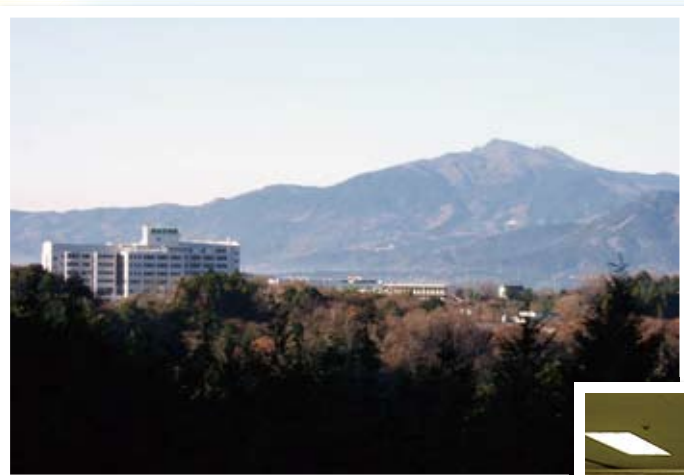




病気を診るのではなく、病気のある人を見る

豊後荘病院 副看護部長 佐々木 伊知郎

私達の病院は筑波山を望む高台に建つ、大変眺めの良い病院です。春の桜や新緑、秋の紅葉は特にすばらしく、患者様や私達の目を楽しませてくれます。精神科が主体の病院で内科病棟2病棟の他、精神一般、精神療養、認知症治療、アルコール依存症の病棟があります。精神科看護では、安全で安心のできる治療環境を提供する。身体的、心理・社会的等多様な面から患者をとらえて援助する。人としての尊厳と権利を守ることが基本となります。こうした援助が良好な人間関係を築き、治療の効果にも影響を与えます。看護が患者と看護者の人間関係の上に成り立つことを考えれば、精神科看護はすべての看護の基本になると言えます。じっくり患者と向き合い、その方の社会復帰へ向けた人生のプロデュースはやりがいがあります。



ザ・シリーズ ～地域連携～



地域から信頼される施設を目指して

介護老人保健施設 春秋園 ケアサービス部 遠藤 多美子

介護老人保健施設春秋園は平成17年4月1日にオープンしました。

入所定員100名（内ユニットケア4ユニットで各10名の計40名）、通所リハビリテーション定員80名／日で運営しております。

明るく家庭的な雰囲気の中で家庭復帰を目指したサービス提供を基本理念としています。緑豊かな環境の中、ご利用者様1人1人の個性を大切に個別ケアを心がけています。四季おりおりのレクリエーションを企画し季節感を感じられる工夫もしております。夏祭りやクリスマス会では職員のソーラン踊りや余興などで一緒に盛り上がります。又、隣接する保育所の子供達との交流もあります。

隣接する「牛久愛和総合病院」と連携し、急変時の対応も速やかに応じる事が出来ます。医師、看護師、薬剤師、リハビリ、介護士、その他専門職とのより良いチームワークを目標に切磋琢磨しご利用者様のハッピーを目指しています。





私の専門 ～認定看護師～



(株) 日立製作所日立総合病院 がん性疼痛看護認定看護師 佐々木 圭子

「患者さんとお家族の立場に立って…」

現在私は、院内緩和ケアチームの一員として、外来・病棟、診療科を問わず、横断的に活動しています。がんの診断や再発・転移、治療中止などの悪い知らせを伝えられる方、痛み等の症状マネジメントが必要な方、緩和ケア外来を受診する方を中心に、診察時間やその前後の時間を利用したり、病室を訪ねたりしながら、患者さん・ご家族に関わらせていただいています。がんや症状に関する治療や療養について、診療時間内でのコミュニケーションだけで患者さんが理解することは極めて困難だと思います。患者さん・ご家族が十分に納得して、ご自身にとってよりよい治療選択、意思決定をしていけるよう、丁寧に関わりながら、医療との橋渡し役を担っていきたいと考えています。





輝け ナースマン

入院環境の作り方

村立東海病院 飯島 友仁

「昨日はどこに行ってきたの?」「彼女とデートだったんでしょ?」私の勤務はこんな患者様との会話から始まる。

以前に私は患者様にこんなことを言われた。

「病院は刑務所みたいだな。」冗談で言ったのかもしれないが、考えてみれば決められた時間に決められたものを食べ、リハビリで身体を酷使し、面会がなければただただ点滴の滴を見ている。刑務所と言われる理由も何となく頷ける。なので私は普段、病状とは全く関係のない話で少しでもリラックスできるようにしている。すると患者様はいろんな話をしてくれるようになり、今では人生の先輩として人生の歩き方を教えていただくこともある。長い入院生活の中でほんのちょっとしたスパイスとなれば嬉しい。しかし、口は災いの元なので、辛みの効かせ過ぎには注意したい。



看護師になって

(株) 日立製作所多賀総合病院 小林 雅史

私は高校卒業後、建設業界で7年6ヶ月働きました。全国各地で山を崩しダムや宅地を造り、海を埋め立て港を造っていました。そんな私が看護師になったのは、看護師として働く妻の姿、人の為に頑張っている姿を見て、自分も看護師になりたい、茨城に残り、人の役に立ちたいと思ったからです。准看護師を経て看護師になり8年になりました。日々患者さんや家族の方のそばで、少しでも役に立ちたいと話を聞き、声をかけています。患者さんからの笑顔や「ありがとう」の言葉をもらえると看護師になって良かったと思います。

辛いこともあります「ありがとう」がもらえるよう続けていきたいと思っています。



思いやりと感謝のところで…そして成長

志村大宮病院 森嶋 仁

高校時代、部活中に頭部外傷にて検査入院をしました。看護師さんは気さくな態度で接してくれ、入院生活を安心して送る事ができました。その頃から看護に興味を持ち、看護学校を受験しましたが力至らず。その後一般企業に就職しましたが看護の道を諦めきれず、2年後に准看護学校を受験し合格しました。准看護師として10年目を迎え、昨年から放送大学に通い、今年から通信制の看護学校へ進む予定です。



私は現在、医療安全委員と転倒、転落ワーキングチームのメンバーとして、安全な業務遂行を目指しています。開設当初より回復期リハビリ病棟に携わり、一番心に残っている事は、初めての受け持ち患者様です。新しい不慣れな病棟で、手探りで関わっていた患者様が退院される時に、患者・家族様が感謝の涙を流されたのです。その涙は、今でも忘れられません。これからも患者・家族様に寄り添った看護が提供できるよう日々精進していきます。

看護師は自分の生き甲斐

城西病院 津久井 由幸

私が看護師になった理由は、患者様の急変が理由です。患者様の急変に気付き、すぐに看護師を呼びましたが、看護師が着いた時には、患者様の呼吸は止まっていました。気づいた時に看護師を呼ぶことしかできず、自分の無力さに情けないと感じました。私が看護師で、知識と技術があったら助けられたかもしれない。そこで、患者様の命を救いたいと看護師を目指しました。

看護という多忙な業務の中での、私のリフレッシュ方法は、エイサーで太鼓を叩きながら踊る事です。病院でエイサー部があり、海外公演や式典など、色々なイベントに参加しています。エイサーで太鼓や踊りを行うと、連帯感や協調性、遣り遂げた後の達成感を感じる事ができます。



平成26年度訪問看護事業所・医療機関相互研修のご案内

訪問看護に携わる看護職員の基本的知識と技術の習得や医療機関看護等との連携を深めていく研修を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

1 訪問看護事業所訪問看護師研修

対 象 者：訪問看護事業所の看護師等
定 員：20名程度
研修期間：平成26年9月5日（金）～12月17日（水）のうち、8日間
研修方法：講習会 5日間 / 病院実習 3日間
募集期間：平成26年7月1日（火）～7月18日（金）FAX 又は郵送

2 医療機関訪問看護推進研修

対 象 者：医療機関の看護師等
定 員：30名程度
研修期間：平成26年7月9日（水）～12月17日（水）のうち、5日間
研修方法：講習会 3日間 / 訪問看護事業所実習 2日間
募集期間：平成26年5月12日（月）～5月26日（月）FAX 又は郵送

3 訪問看護事業所間相互研修

対 象 者：訪問看護事業所の看護師等
定 員：10名程度
研修期間：平成26年9月5日（金）～12月17日（水）のうち、5日間
研修方法：講習会 2日間 / 訪問看護事業所実習 3日間
募集期間：平成26年7月1日（火）～7月18日（金）FAX 又は郵送

【お申込方法、その他詳細について】

茨城県看護協会ホームページ「研修からのお知らせ」又は下記までお問合せ下さい。

【問い合わせ】公益社団法人茨城県看護協会 訪問看護支援事業担当 TEL 029-221-6900

ブラッシュアップ教育 准看護師研修のご案内

今年度、ブラッシュアップ研修では「准看護師研修 一地域で生き生きと働くために」を各地区で開催します。看護記録について理解を深め、日々の看護実践に活用できることを目指します。同じ内容を4回実施します。参加しやすい地区を選び受講できます。

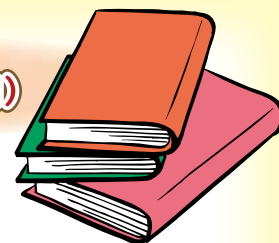
准看護師の皆さん、どうぞ、この研修にご参加ください。

日 程	研修会場	定員	内 容	講師名	受講料	応募期間
8月26日（火） 13:30～15:30	茨城北西看護専門学校	30	看護記録の理解	高橋 由紀 茨城県立医療大学 准教授	会員 1,000 非会員 2,000	7/1（火） ～ 7/15（火）
8月28日（木） 13:30～15:30	白十字看護専門学校	30		吉良 淳子 茨城県立医療大学 教授		
8月29日（金） 13:30～15:30	茨城県結城看護専門学校	30		高橋 由紀 茨城県立医療大学 准教授		
9月18日（木） 13:30～15:30	牛久愛和総合病院	30		吉良 淳子 茨城県立医療大学 教授		

【申込み・問い合わせ】

公益社団法人茨城県看護協会 継続教育研修担当 TEL 029-221-6900

新着図書のお知らせ (平成26年3月～4月)



新しい図書が入りました。みなさん是非ご利用下さい。

	書 名	著 者 名	出 版 社	出版年
1	看護師に対する緩和ケア教育テキスト	厚生労働省委託事業 平成 25 年度がん医療に携わる看護研修事業 他	日本看護協会 出版会	2014
2	看護実践にいかす エンド・オブ・ライフケア	編集 長江 弘子	日本看護協会 出版会	2014
3	看護法令要覧 平成 26 年版	編集 勝又 浜子・門脇 豊子他	日本看護協会 出版会	2014
4	在宅・施設ケアスタッフのための誤嚥のケアと予防チェックテスト 88	編集 藤谷 順子	日本看護協会 出版会	2014
5	看護管理学習テキスト第 2 版 第 1 巻 看護管理概説	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 井部 俊子	日本看護協会 出版会	2014
6	看護管理学習テキスト第 2 版 第 2 巻 看護組織論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 井部 俊子 勝原 裕美子	日本看護協会 出版会	2014
7	看護管理学習テキスト第 2 版 第 3 巻 看護マネジメント論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 木村 チズ子・村上 美好	日本看護協会 出版会	2014
8	看護管理学習テキスト第 2 版 第 4 巻 看護における人的資源活用論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 手島 恵	日本看護協会 出版会	2014
9	看護管理学習テキスト第 2 版 第 5 巻 看護情報管理論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 上泉 和子・太田 勝正	日本看護協会 出版会	2014
10	看護管理学習テキスト第 2 版 第 6 巻 看護経営・経済論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 金井 Pak 雅子	日本看護協会 出版会	2014
11	看護管理学習テキスト第 2 版 第 7 巻 看護制度・政策論	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 中西 睦子	日本看護協会 出版会	2014
12	看護管理学習テキスト第 2 版 第 8 巻 看護管理学研究	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 中西 睦子・上泉 和子・ 増野 園恵	日本看護協会 出版会	2014
13	看護管理学習テキスト第 2 版 看護管理 基本資料集 2014 年版	監修 井部 俊子・中西 睦子／ 編集 中西 睦子・勝原 裕美子・ 増野 園恵	日本看護協会 出版会	2014
14	感染管理に関するツール集	公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会	ボンソワール書房	2014
15	家族が選んだ「平穏死」：看取った家族だけが知っている本当の「幸せな逝き方」	長尾クリニック院長 長尾 和宏／ 上村 悦子	祥伝社黄金文庫	2013
16	～在宅医療をはじめの方へ～訪問看護活用ガイド 改訂版	佐藤 美穂子 他	健康と良い友だち社	2013
17	在宅の高齢者を支える―医療・介護・看取り―	飯島 節 他	公益財団法人長寿科学振興財団	2014



理事会報告 平成 25 年度

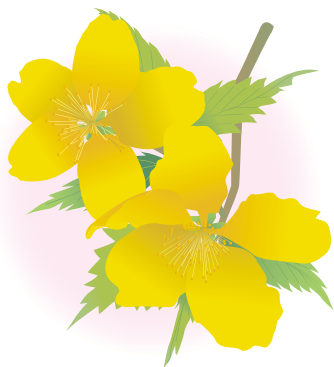
◆第 7 回理事会 2 月 7 日(金)

協議事項

- 1 平成25年度事業報告(10月～12月分)(案)承認
- 2 起業支援型地域雇用創造事業について承認
- 3 平成25年度第3四半期会計報告(案)承認
- 4 平成26年度事業方針・重点事業(案)
- 5 平成26年度教育計画(案)承認
- 6 平成26年度予算(案)暫定版
- 7 平成26年度優良看護職員茨城県知事表彰候補者の推薦について承認

報告事項

- 1 平成25年度日本看護協会第5回法人会員会(臨時)報告
- 2 看護職の WLB 推進フォローアップ・ワークショップについて
- 3 平成25年度第6回理事会議事録
- 4 平成25年度第8回理事会開催日の変更について



◆第 8 回理事会 3 月 18 日(火)

協議事項

- 1 平成26年度重点事業および事業計画(案)承認
- 2 平成26年度収支予算書(案)承認
- 3 平成26年度資金調達及び設備投資の見込み(案)承認
- 4 公益社団法人茨城県看護協会定款細則の改正(案)承認
- 5 平成26年度通常総会プログラム(案)承認
- 6 受講料コンビニ収納サービスの再開について承認
- 7 人事について承認
- 8 平成26年度優良看護職員茨城県看護協会長表彰候補者の推薦(案)承認
- 9 平成26年度理事会開催予定(案)承認

報告事項

- 1 平成25年度日本看護協会第6回理事会報告
- 2 第50回いばらき看護の祭典実行委員会報告
- 3 公益法人の事業計画書等の提出について
- 4 平成25年度第7回理事会議事録
- 5 四師会による災害時の医療救護活動に関する協定書の調印について
- 6 地区理事からの活動に関する意見・要望について
- 7 会館維持費未納者について
- 8 新人看護職員研修ガイドラインの見直しに関する検討会報告書

平成 26 年度 通常総会・職能集会のお知らせ

日 時 平成 26 年 6 月 20 日(金) 9:00 開場 9:30 開会

場 所 茨城県立県民文化センター 大ホール

主な内容 優良看護職員茨城県看護協会長表彰、提出議案の審議、報告事項 など

開催通知は、プログラムが決まり次第、会員の皆様の施設会員代表者あて、または個人会員自宅あて送付されます。会員皆様の出席をお待ちしています。

なお、出席される方には「通常総会参加券」を送付いたします。

編集後記

風薫る季節となりました。新入職員を迎え忙しい日々をお過ごしのことと思います。
今年もまた皆様に興味・関心をもっていただけるような広報誌を作っていきたいと思いますので、みなさんご協力お願いします。

広報委員一同